

■当ファンドの仕組みは次の通りです。

| | | |
|--------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 商品分類 | 追加型投信／海外／資産複合 | |
| 信託期間 | 2014年4月28日から2017年6月16日まで (当初、2019年2月20日まで) | |
| 運用方針 | <p>①ハイ・イールド・クレジット・インデックス及び残存期間の短い米国、欧州地域の国債等を実質的な主要投資対象とし、金利変動の影響を抑えながら、インカムゲインの確保と信託財産の成長を図ることを目指します。</p> <p>②ハイ・イールド・クレジット・インデックス取引以外の部分については、主として米国および欧州地域の国債等に投資を行います。</p> <p>③原則、相対的に金利水準が高く、成長性が高いと考えられる複数通貨に為替取引を行い、為替取引によるプレミアム(金利差相当分の収益)の獲得を目指します。</p> | |
| 主要投資対象 | 金利上昇対応型グローバル・ハイ・イールドファンド通貨セレクトコース | 投資信託証券 |
| | UBP OPPORTUNITIES SICAV-SIFグローバルハイイールドマルチカレンシーストラテジーフアード | 残存期間の短いドル建て及びユーロ建ての国債等および以下の2つの指数※ ※マークイット社が管理・運営する「Markit CDX North America High Yield Indices」「Markit iTraxx Crossover Indices」 |
| | 損保ジャパン日本債券マザーファンド | 日本の公社債 |
| 主な組入制限 | 金利上昇対応型グローバル・ハイ・イールドファンド通貨セレクトコース | <p>①投資信託証券への投資割合には制限を設けません。</p> <p>②外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。</p> <p>③デリバティブの直接利用は行いません。</p> <p>④同一銘柄の投資信託証券への投資割合には制限を設けません。</p> <p>⑤株式への直接投資は行いません。</p> |
| | UBP OPPORTUNITIES SICAV-SIFグローバルハイイールドマルチカレンシーストラテジーフアード | <p>①有価証券の空売りは行いません。</p> <p>②純資産総額の10%を超える借入れを行いません。</p> <p>③流動性に欠ける資産への投資は行いません。</p> |
| | 損保ジャパン日本債券マザーファンド | <p>①株式への投資割合は、信託財産の純資産総額の5%以内とします。</p> <p>②外貨建資産への投資割合には制限を設けません。</p> |
| 分配方針 | <p>毎決算時に、原則として以下の方針に基づき分配を行います。</p> <p>①分配対象額の範囲は、経費控除後の繰越分を含めた利子、配当収入と売買益(評価損益を含みます。)等の全額とします。</p> <p>②収益分配金額は、委託会社が基準価額水準等を勘案して決定します。ただし、必ず分配を行うものではありません。</p> | |

金利上昇対応型グローバル・ハイ・イールドファンド 通貨セレクトコース

第35期 (決算日 2017年3月21日)
 第36期 (決算日 2017年4月20日)
 第37期 (決算日 2017年5月22日)
 最終期 (償還日 2017年6月16日)

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。さて、「金利上昇対応型グローバル・ハイ・イールドファンド 通貨セレクトコース」は、信託約款の規定に基づき、2017年6月16日をもちまして繰上償還いたしました。ここに謹んで設定以来の運用状況と償還の内容をご報告申し上げます。今後とも当社商品につき引き続きお引立て賜りますようお願い申し上げます。



損保ジャパン日本興亜アセットマネジメント

東京都中央区日本橋二丁目2番16号 共立日本橋ビル

URL <http://www.sjnk-am.co.jp/>

お問い合わせ先

TEL クライアントサービス第二部 0120-69-5432
(受付時間 営業日の午前9時～午後5時)

※当ファンドが主要投資対象とする投資信託証券の正式名称については後掲「■主要投資対象の投資信託証券の概要」をご覧ください。

■最近5作成期の運用実績

| 作成期 | 決算期 | 基準価額 (分配落) | 標準価額 | | | 債券組入率 | 投資信託比率 | 純資産総額 |
|-------|---------------------|--------------------|----------|-----------|----------|-----------|--------------|-------|
| | | | 税分配 | 込金 | 期騰落率 | | | |
| 第3作成期 | 11期 (2015年3月20日) | 円 9,145 | 円 120 | % △1.9 | % 1.0 | % 95.2 | 百万円 1,723 | |
| | 12期 (2015年4月20日) | 9,111 | 120 | 0.9 | 1.0 | 94.9 | 1,688 | |
| | 13期 (2015年5月20日) | 9,197 | 120 | 2.3 | 1.0 | 94.7 | 1,511 | |
| | 14期 (2015年6月22日) | 9,060 | 120 | △0.2 | 0.2 | 95.0 | 1,286 | |
| | 15期 (2015年7月21日) | 9,105 | 120 | 1.8 | 1.0 | 95.8 | 1,107 | |
| | 16期 (2015年8月20日) | 8,412 | 120 | △6.3 | 1.0 | 95.0 | 939 | |
| 第4作成期 | 17期 (2015年9月24日) | 7,674 | 120 | △7.3 | 1.0 | 95.9 | 808 | |
| | 18期 (2015年10月20日) | 7,954 | 120 | 5.2 | 1.0 | 95.3 | 735 | |
| | 19期 (2015年11月20日) | 8,068 | 90 | 2.6 | 1.0 | 95.2 | 680 | |
| | 20期 (2015年12月21日) | 7,589 | 90 | △4.8 | 1.0 | 95.0 | 540 | |
| | 21期 (2016年1月20日) | 6,996 | 90 | △6.6 | 1.0 | 95.1 | 457 | |
| | 22期 (2016年2月22日) | 6,731 | 90 | △2.5 | 1.0 | 95.3 | 428 | |
| 第5作成期 | 23期 (2016年3月22日) | 7,251 | 90 | 9.1 | 1.0 | 95.9 | 413 | |
| | 24期 (2016年4月20日) | 7,195 | 90 | 0.5 | 1.0 | 95.6 | 399 | |
| | 25期 (2016年5月20日) | 6,819 | 70 | △4.3 | 1.1 | 94.8 | 354 | |
| | 26期 (2016年6月20日) | 6,594 | 70 | △2.3 | 1.0 | 94.9 | 331 | |
| | 27期 (2016年7月20日) | 6,921 | 70 | 6.0 | 0.9 | 95.1 | 294 | |
| | 28期 (2016年8月22日) | 6,658 | 70 | △2.8 | 1.0 | 95.2 | 277 | |
| 第6作成期 | 29期 (2016年9月20日) | 6,589 | 70 | 0.0 | 1.0 | 95.4 | 273 | |
| | 30期 (2016年10月20日) | 6,805 | 70 | 4.3 | 0.9 | 94.2 | 266 | |
| | 31期 (2016年11月21日) | 6,769 | 70 | 0.5 | 0.9 | 95.9 | 250 | |
| | 32期 (2016年12月20日) | 7,291 | 70 | 8.7 | 1.0 | 95.0 | 253 | |
| | 33期 (2017年1月20日) | 7,192 | 70 | △0.4 | 1.0 | 94.8 | 236 | |
| | 34期 (2017年2月20日) | 7,186 | 70 | 0.9 | 1.0 | 95.3 | 228 | |
| 最終作成期 | 35期 (2017年3月21日) | 7,318 | 70 | 2.8 | 1.0 | 95.0 | 192 | |
| | 36期 (2017年4月20日) | 6,993 | 70 | △3.5 | 1.0 | 95.4 | 164 | |
| | 37期 (2017年5月22日) | 7,380 | 0 | 5.5 | — | 38.0 | 128 | |
| | (償還日) 2017年6月16日 | (償還価額) 7,367.57 | | △0.2 | — | — | 127 | |

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) 基準価額及び分配金は1万円当たり（以下同じ）。

(注3) 債券組入比率は損保ジャパン日本債券マザーファンドへの投資割合に応じて算出された当ファンドベースの組入比率。

(注4) 投資信託証券組入比率はUBP OPPORTUNITIES SICAV-SIFグローバルハイイールドマルチカレンシーストラテジーファンドの組入比率。

(注5) 当ファンドは、UBP OPPORTUNITIES SICAV-SIFグローバルハイイールドマルチカレンシーストラテジーファンドへの投資比率を可能な限り高位に保ちますが、本投資信託証券のコンセプトに合った指数等が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数は記載しておりません。

■第35期～最終期の基準価額と市況等の推移

| 決算期 | 年 月 日 | 基 準 価 額 | 騰 落 率 | | 債 券 組 入 比 率 | 投 資 信 託 証 券 組 入 比 率 |
|------|-------------------|--------------------|-------|-------|-------------|---------------------|
| | | | 騰 落 率 | 騰 落 率 | | |
| 第35期 | (期 首) 2017年 2月20日 | 円 7,186 | % — | % 1.0 | % 95.3 | |
| | 2月末 | 7,205 | 0.3 | 1.0 | 95.0 | |
| | (期 末) 2017年 3月21日 | 7,388 | 2.8 | 1.0 | 95.0 | |
| 第36期 | (期 首) 2017年 3月21日 | 7,318 | — | 1.0 | 95.0 | |
| | 3月末 | 7,280 | △0.5 | 1.0 | 95.0 | |
| | (期 末) 2017年 4月20日 | 7,063 | △3.5 | 1.0 | 95.4 | |
| 第37期 | (期 首) 2017年 4月20日 | 6,993 | — | 1.0 | 95.4 | |
| | 4月末 | 7,251 | 3.7 | 0.9 | 95.7 | |
| | (期 末) 2017年 5月22日 | 7,380 | 5.5 | — | 38.0 | |
| 最終期 | (期 首) 2017年 5月22日 | 7,380 | — | — | 38.0 | |
| | 5月末 | 7,372 | △0.1 | — | 38.0 | |
| | (償還日) 2017年 6月16日 | (償還価額) 7,367.57 | △0.2 | — | — | |

(注1) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

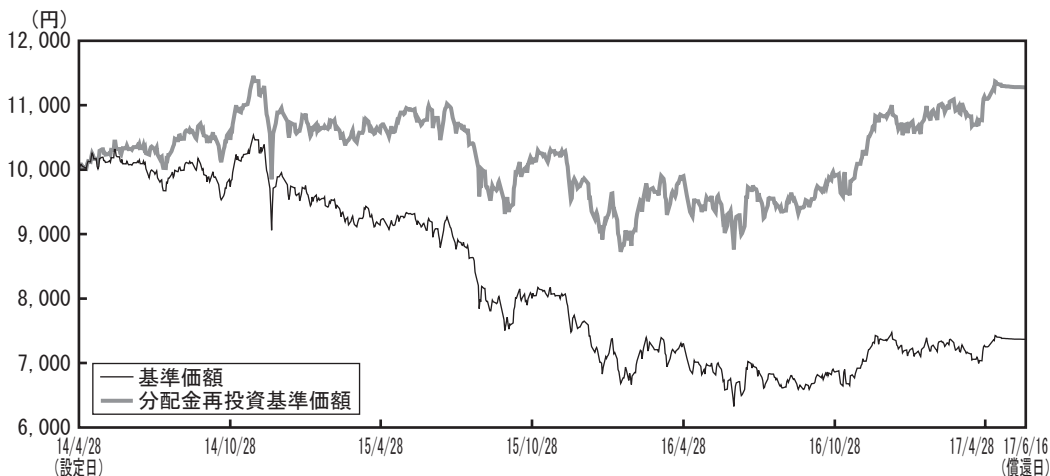
(注2) 債券組入比率は損保ジャパン日本債券マザーファンドへの投資割合に応じて算出された当ファンドベースの組入比率。

(注3) 投資信託証券組入比率はUBP OPPORTUNITIES SICAV-SIFグローバル ハイイールド マルチカレンシー ストラテジー ファンドの組入比率。

(注4) 当ファンドは、UBP OPPORTUNITIES SICAV-SIFグローバル ハイイールド マルチカレンシー ストラテジー ファンドへの投資比率を可能な限り高位に保ちますが、本投資信託証券のコンセプトに合った指数等が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数は記載しておりません。

設定以来の運用経過（2014年4月28日（設定日）～2017年6月16日（償還日））

■ 基準価額の推移



設定日：10,000円

償還日：7,367円57銭（期中分配金合計3,540円）

騰落率：12.8%（分配金再投資基準価額ベース）

- ・分配金再投資基準価額は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- ・分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- ・当ファンドは、UBP OPPORTUNITIES SICAV-SIFグローバル ハイイールド マルチカレンシー ストラテジー ファンドへの投資比率を可能な限り高位に保ちますが、本投資信託証券のコンセプトに適った指数等が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数は記載しておりません。

■ 基準価額の主な変動要因

主要投資対象である「UBP OPPORTUNITIES SICAV-SIFグローバル ハイイールド マルチカレンシー ストラテジー ファンド」において、ハイ・イールド・クレジット・インデックス取引に加えて為替取引による金利収入がプラスに寄与したため、分配金再投資基準価額は上昇しました。

■投資環境

○ハイ・イールド債券市場

当ファンドの運用期間において、ハイ・イールド債券市場のスプレッドは縮小しました。当ファンドの設定から2014年10月にかけては、マレーシアの民間航空機がウクライナ東部で撃墜されたことや、イスラエル軍がガザ地区への地上侵攻を開始したことを受けて地政学リスクが高まったことに加えて、IMF（国際通貨基金）による世界経済の成長見通しが引き下げられたことなどが嫌気され、スプレッドは拡大しました。

その後は米国の良好な経済指標や、ECB（欧州中央銀行）による量的金融緩和策実施の決定が好感されスプレッドが縮小する場面もありました。しかし2015年3月から2016年2月にかけては、米国の利上げ懸念や、ギリシャ支援をめぐる協議の先行き不透明感、中国経済の成長鈍化懸念などが嫌気されたほか、原油価格が下落したことを受けてスプレッドは大きく拡大しました。

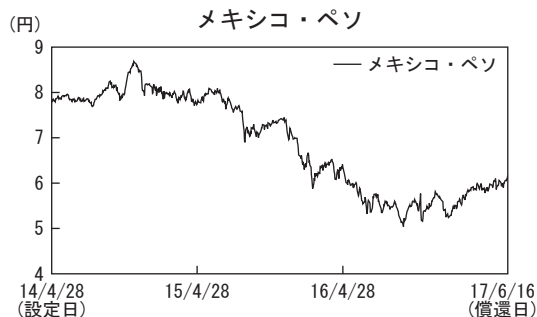
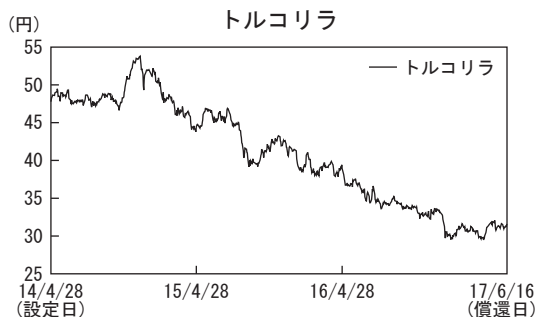
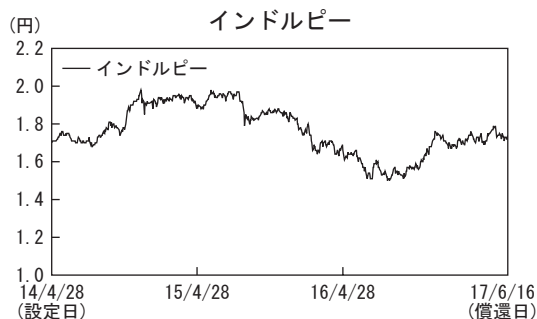
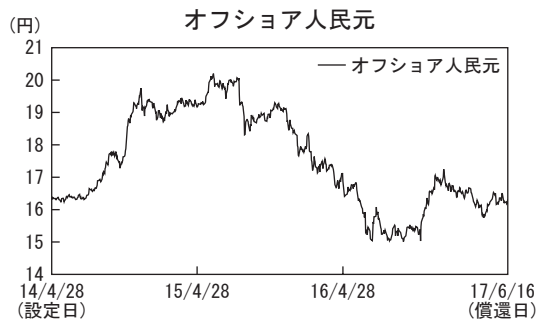
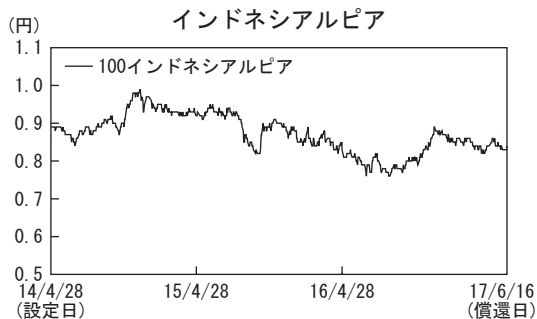
2016年前半は原油価格が反発し投資家心理に安心感が広がったことや、ECBによる市場予想を上回る金融緩和を受けてスプレッドは縮小傾向となりました。6月に英国の国民投票でEU（欧州連合）からの離脱が決定されたため一時的にスプレッドが拡大したものの、米国の堅調な経済指標などを背景にスプレッドの縮小が続きました。

2016年11月に米国でトランプ氏の大統領就任が決定すると、同氏の掲げる景気刺激策や規制緩和政策への期待が広がり、スプレッドは縮小しました。その後はフランスの大統領選挙をめぐる先行き不透明感や、米国がシリア空軍基地を攻撃したことによる地政学リスクの高まりが嫌気されスプレッドが一時的に拡大しました。しかしフランス大統領選挙でマクロン氏が勝利したことを受けて同国のユーロ離脱といった政治リスク懸念が後退したことに加えて、トランプ氏の税制改革への期待や好調な株式市場を背景にスプレッドの縮小傾向が続き、当ファンドの償還を迎えました。

○為替市場

当ファンドの運用期間における選択通貨は、対円で概ね下落しました。米国の利上げにより新興国を中心に資金流出が懸念されたほか、国外・国内の政情不安などを背景に、メキシコペソ、ブラジルレアル、トルコリラが特に大きく下落しました。

為替レートの推移（対円）



(出所：Bloombergおよび投資信託協会)

- (注1) 為替レートは対顧客電信売買相場の仲値を使用しております。
 (注2) 償還決定時点で保有していた通貨について表示しております。

■当該投資信託のポートフォリオ

「UBP OPPORTUNITIES SICAV-SIFグローバル ハイイールド マルチカレンシー ストラテジー ファンド」への投資比率を高位に維持した後、5月10日に当ファンドが償還決定したことを受けて2017年6月上旬に全売却しました。

(UBP OPPORTUNITIES SICAV-SIFグローバル ハイイールド マルチカレンシー ストラテジー ファンド) (2014年4月28日～2017年5月31日)

当ファンドは、欧米のハイ・イールド・クレジット・インデックス及び残存期間の短い米国、ドイツ、フランスの国債を高位に組み入れ、ハイ・イールド・クレジット・インデックスは、北米の組み入れ比率を3分の2程度、欧州の組み入れ比率を3分の1程度としました。

また、ハイ・イールド・クレジット・インデックスを通じた実質投資比率は、純資産に対して90%～120%程度で推移させました。

通貨セレクトコースでは、ブラジルリアル、トルコリラ、インドネシアルピア、インドルピー、オフショア人民元、南アフリカランド、メキシコペソ等をそれぞれ購入しました。

上記ファンドの償還決定後は、当ファンドもポジションの解消によりキャッシュ化を進めました。

(損保ジャパン日本債券マザーファンド) (2014年4月28日～2017年5月12日)

債券の組み入れにつきましては、投資方針に沿ったポートフォリオの構築を行い、高水準の組入比率を維持しました。

債券種別戦略は、設定来より非国債をオーバーウェイトする戦略を取りました。

デュレーション・イールドカーブ戦略については、日銀による金融緩和政策強化のもと、2016年9月までは、20年債をオーバーウェイトしデュレーションをロング（または中立）とする戦略を基本としました。2016年9月に日銀がそれまでの金融緩和政策の見直しを行い、金利水準を一定のレベルに維持する政策を導入しました。このことから、更なる金利の引き下げの可能性は低いと考えました。そのため、その後は超長期ゾーンをアンダーウェイトするショートデュレーション戦略を基本としました。

■当該投資信託のベンチマークとの差異

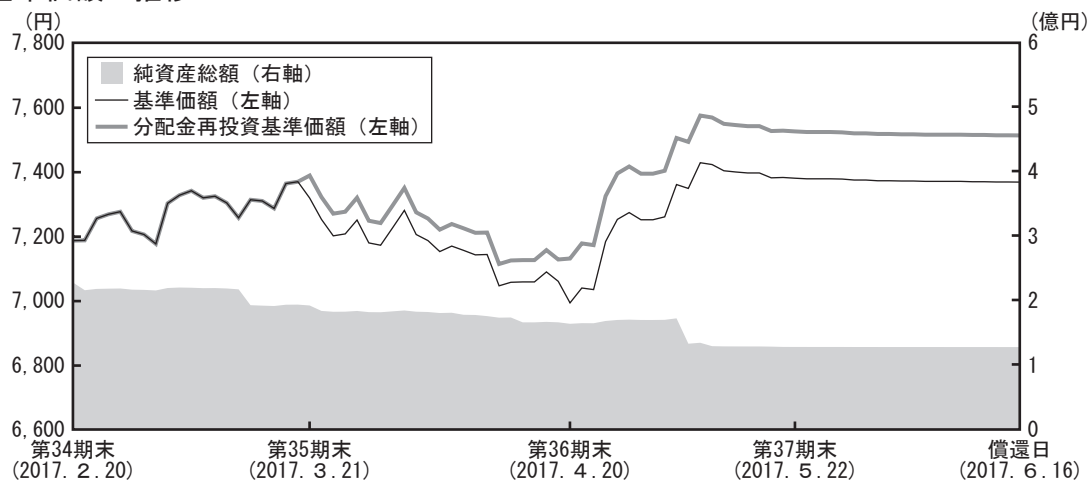
当ファンドは、UBP OPPORTUNITIES SICAV-SIFグローバル ハイイールド マルチカレンシー ストラテジー ファンドへの投資比率を可能な限り高位に保ちますが、本投資信託証券のコンセプトに適った指数等が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数は記載しておりません。

■分配金

収益分配金については、基準価額の水準等を勘案し、第1期～第18期は各120円（1万口当たり、以下同じ。）、第19期～第24期は各90円、第25期～第36期は各70円、第37期は0円、合計で3,540円の分配を行いました。

最終作成期の運用経過（2017年2月21日～2017年6月16日（償還日））

■ 基準価額の推移



第35期首：7,186円

償還時：7,367円57銭（期中分配金合計140円）

騰落率：4.5%（分配金再投資基準価額ベース）

- ・分配金再投資基準価額の推移は、2017年2月20日の基準価額をもとに委託会社にて指数化したものを使用しております。
- ・分配金再投資基準価額は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- ・分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- ・当ファンドは、UBP OPPORTUNITIES SICAV-SIFグローバル ハイイールド マルチカレンシー ストラテジー ファンドへの投資比率を可能な限り高位に保ちますが、本投資信託証券のコンセプトに適った指数等が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数は記載しておりません。

■ 基準価額の主な変動要因

主要投資対象である「UBP OPPORTUNITIES SICAV-SIFグローバル ハイイールド マルチカレンシー ストラテジー ファンド」において、ハイ・イールド・クレジット・インデックス取引や為替要因がプラスに寄与したため、分配金再投資基準価額は上昇しました。

■投資環境

○ハイ・イールド債券市場

当期のハイ・イールド債券の信用スプレッドは、米国は拡大した一方で欧州は縮小しました。

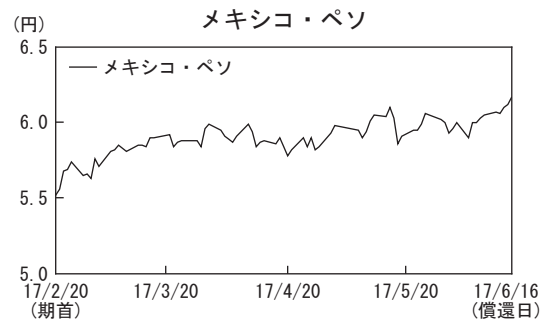
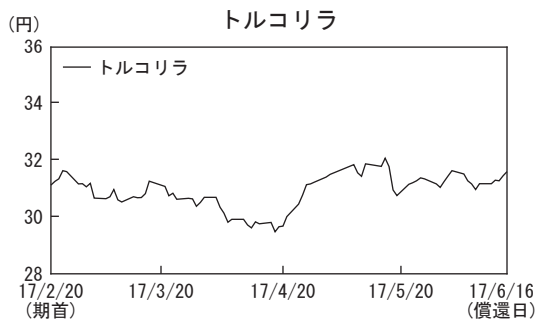
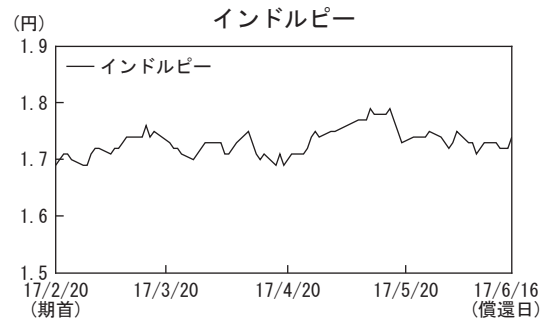
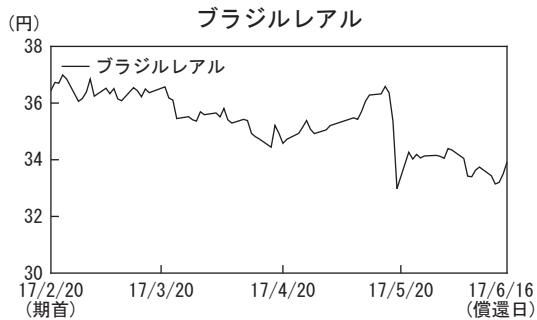
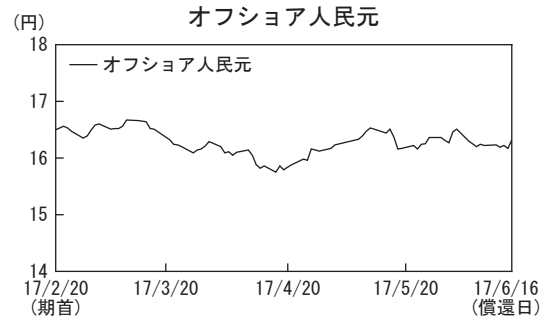
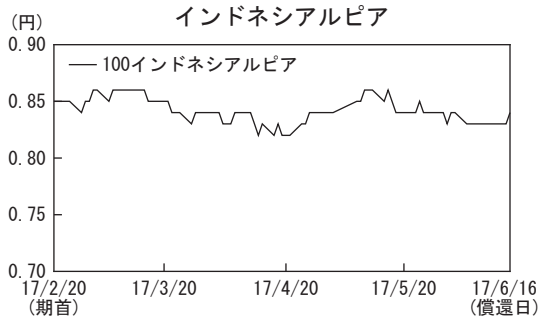
期初は米国の金利上昇が一服したことや、良好な米国経済指標を受けスプレッドは縮小しました。しかし3月上旬から4月中旬にかけては、ECB（欧州中央銀行）のドラギ総裁が追加緩和に否定的な発言をしたことや、フランス大統領選挙をめぐる先行き不透明感に加えて、米国がシリア空軍基地を攻撃したことによる地政学リスクの高まりが嫌気され、スプレッドは拡大しました。

4月下旬以降は、フランス大統領選挙でマクロン氏が勝利したことを受けて同国のユーロ離脱といった政治リスク懸念が後退したことに加えて、米国トランプ政権による税制改革案への期待などが好感され、スプレッドは縮小しました。

○為替市場

当期の為替市場では、対円でブラジルレアルが大統領の汚職関連疑惑などから大きく下落した一方で、メキシコペソが大きく上昇しました。

為替レートの推移（対円）



(出所：Bloombergおよび投資信託協会)

(注1) 為替レートは対顧客電信売買相場の仲値を使用しております。
 (注2) 償還決定時点で保有していた通貨について表示しております。

■当該投資信託のポートフォリオ

「UBP OPPORTUNITIES SICAV-SIFグローバル ハイイールド マルチカレンシー ストラテジー ファンド」への投資比率を高位に維持した後、5月10日に当ファンドが償還決定したことを受けキャッシュ化を進め、6月16日に償還しました。

(UBP OPPORTUNITIES SICAV-SIFグローバル ハイイールド マルチカレンシー ストラテジー ファンド) (2017年2月21日～2017年5月31日)

当ファンドは、欧米のハイ・イールド・クレジット・インデックス及び残存期間の短い米国、フランスの国債を高位に組み入れ、ハイ・イールド・クレジット・インデックスは、北米の組み入れ比率を3分の2程度、欧州の組み入れ比率を3分の1程度にし、ハイ・イールド・クレジット・インデックスを通じた実質投資比率は、純資産に対して99%～116%程度で推移させました。通貨選択に関しては、ブラジルリアル、トルコリラ、インドネシアルピア、インドルピー、オフショア人民元、南アフリカランド、メキシコペソをそれぞれ購入しました。

上記ファンドの償還決定後は、当ファンドもポジションの解消によりキャッシュ化を進めました。

(損保ジャパン日本債券マザーファンド) (2017年2月21日～2017年5月12日)

金利戦略は、景況感改善のもと、期初より超長期ゾーンをアンダーウェイトするショートデュレーションを基本戦略としました。5月以降は、超長期ゾーンを小幅オーバーウェイトするロングデュレーション戦略に変更しました。債券種別戦略は、非国債のオーバーウェイトを継続しました。

■当該投資信託のベンチマークとの差異

当ファンドは、UBP OPPORTUNITIES SICAV-SIFグローバル ハイイールド マルチカレンシー ストラテジー ファンドへの投資比率を可能な限り高位に保ちますが、本投資信託証券のコンセプトに適った指数等が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数は記載しておりません。

■分配金

収益分配金については、基準価額の水準等を勘案し、合計で140円の分配を行いました。

<分配原資の内訳>

(単位：円、1万口当たり・税引前)

| 項目 | 第35期 | 第36期 | 第37期 |
|-----------|-----------------------|-----------------------|-----------------------|
| | 2017年2月21日～2017年3月21日 | 2017年3月22日～2017年4月20日 | 2017年4月21日～2017年5月22日 |
| 当期分配金 | 70 | 70 | — |
| (対基準価額比率) | 0.95% | 0.99% | —% |
| 当期の収益 | 70 | 66 | — |
| 当期の収益以外 | — | 3 | — |
| 翌期繰越分配対象額 | 726 | 725 | 729 |

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。

また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切り捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金(税引前)に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金(税引前)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

<償還を迎えて>

当ファンドは、2017年6月16日をもちまして信託期間を終了し、繰上償還とさせていただきますこととなりました。受益者の皆様のご愛顧に心より御礼を申し上げます。誠にありがとうございました。

■ 1万口当たりの費用明細

| 項目 | 第35期～最終期 | | 項目の概要 |
|-----------|-------------------------|---------|-------------------------------------------------------------------------------------------|
| | (2017年2月21日～2017年6月16日) | | |
| | 金額 | 比率 | |
| (a) 信託報酬 | 27円 | 0.370% | (a) 信託報酬＝各期中の平均基準価額×信託報酬率（年率）× $\frac{\text{各期の日数}}{\text{年間の日数}}$ 期中の平均基準価額は7,279円です。 |
| （投信会社） | （9） | （0.120） | ファンドの運用の対価 |
| （販売会社） | （17） | （0.240） | 購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価 |
| （受託会社） | （1） | （0.010） | 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行等の対価 |
| (b) その他費用 | 0 | 0.000 | (b) その他費用＝ $\frac{\text{各期中のその他費用}}{\text{各期中の平均受益権口数}}$ |
| （保管費用） | （0） | （0.000） | 有価証券等の保管等のために、海外の銀行等に支払う費用 |
| （監査費用） | （0） | （0.000） | 監査法人に支払うファンドの監査にかかる費用 |
| （その他） | （0） | （0.000） | 信託事務の処理にかかるその他の費用等 |
| 合計 | 27 | 0.370 | |

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、その他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(注4) 各項目の費用は、このファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。

■売買及び取引の状況

○投資信託証券

(2017年2月21日から2017年6月16日まで)

| | | 第 35 期 ~ 最 終 期 | | | |
|-------------|------------------------------------------------------------------|----------------|----------|---------------|----------------|
| | | 買 付 | | 売 付 | |
| | | 口 数 | 金 額 | 口 数 | 金 額 |
| (邦貨建) 外国 | UBP OPPORTUNITIES - GLOBAL HIGH YIELD STRATEGY Multi-Currency | 千口 | 千円 | 千口 | 千円 |
| | | — (—) | — (—) | 33,293 (—) | 221,545 (—) |

(注1) 金額は受渡代金。

(注2) 買付()内は分割割当、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

(注3) 売付()内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

(注4) 金額の単位未満は切捨て。

○親投資信託受益証券の設定、解約状況

(2017年2月21日から2017年6月16日まで)

| | | 第 35 期 ~ 最 終 期 | | | |
|-------------------|--|----------------|-----|-------|-------|
| | | 設 定 | | 解 約 | |
| | | 口 数 | 金 額 | 口 数 | 金 額 |
| 損保ジャパン日本債券マザーファンド | | 千口 | 千円 | 千口 | 千円 |
| | | — | — | 1,658 | 2,324 |

(注1) 単位未満は切捨て。

(注2) 金額は受渡代金。

■利害関係人との取引状況 (2017年2月21日から2017年6月16日まで)

当ファンド及びマザーファンドにおける第35期～最終期中の利害関係人との取引はございません。

■組入資産の明細

○投資信託証券 (邦貨建)

(2017年6月16日現在)

| 銘 | 柄 | 期首(第34期末) | | | |
|-----|------------------------------------------------------------------|------------|------|-------|-----|
| | | 口 数 | 口 数 | 評 価 額 | 比 率 |
| | | 千口 | 千口 | 千円 | % |
| | UBP OPPORTUNITIES - GLOBAL HIGH YIELD STRATEGY Multi-Currency | 33,292 | — | — | — |
| 合 計 | 口 数、金 額 | 33,292 | — | — | — |
| | 銘 柄 数 <比 率> | 1銘柄<95.3%> | —<—> | — | — |

(注1) 合計欄の< >内は、純資産総額に対する評価額の比率。

(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

○親投資信託残高

(2017年6月16日現在)

| | 期首(第34期末) | 償還時 | |
|-------------------|-------------|---------|---------|
| | 口数 | 口数 | 評価額 |
| 損保ジャパン日本債券マザーファンド | 千口 1,658 | 千口 — | 千円 — |

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

(2017年6月16日現在)

| 項 目 | 償還時 | |
|--------------|---------------|------------|
| | 評価額 | 比率 |
| コール・ローン等、その他 | 千円 128,001 | % 100.0 |
| 投資信託財産総額 | 128,001 | 100.0 |

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2017年3月21日現在) (2017年4月20日現在) (2017年5月22日現在) (2017年6月16日現在)

| 項 目 | 第35期末 | 第36期末 | 第37期末 | 償還時 |
|------------------------|--------------|--------------|--------------|--------------|
| a 資産 | 195,048,264円 | 174,080,511円 | 128,722,400円 | 128,001,149円 |
| コール・ローン等 | 10,207,397 | 15,983,160 | 80,015,582 | 128,001,149 |
| 投資信託証券(評価額) | 182,890,458 | 156,457,084 | 48,706,818 | — |
| 損保ジャパン日本債券マザーファンド(評価額) | 1,950,409 | 1,640,267 | — | — |
| b 負債 | 2,620,597 | 10,063,512 | 613,401 | 107,237 |
| 未払収益分配金 | 1,840,702 | 1,641,847 | — | — |
| 未払解約金 | 583,280 | 8,250,271 | 457,176 | — |
| 未払信託報酬 | 196,265 | 171,046 | 156,225 | 106,322 |
| 未払利息 | — | — | — | 915 |
| その他未払費用 | 350 | 348 | — | — |
| c 純資産総額(a-b) | 192,427,667 | 164,016,999 | 128,108,999 | 127,893,912 |
| 元本 | 262,957,468 | 234,549,647 | 173,590,337 | 173,590,337 |
| 次期繰越損益金 | △ 70,529,801 | △ 70,532,648 | △ 45,481,338 | — |
| 償還差損益金 | — | — | — | △ 45,696,425 |
| d 受益権総口数 | 262,957,468口 | 234,549,647口 | 173,590,337口 | 173,590,337口 |
| 1万口当たり基準価額(c/d) | 7,318円 | 6,993円 | 7,380円 | — |
| 1万口当たり償還価額(c/d) | — | — | — | 7,367円57銭 |

(注1) 期末における1口当たりの純資産総額

第35期0.7318円、第36期0.6993円、第37期0.7380円、償還時0.736757円

(注2) 期末における元本の欠損金額

第35期70,529,801円、第36期70,532,648円、第37期45,481,338円、償還時45,696,425円

■ 損益の状況

| 項 目 | 自2017年2月21日 至2017年3月21日 | 自2017年3月22日 至2017年4月20日 | 自2017年4月21日 至2017年5月22日 | 自2017年5月23日 至2017年6月16日 |
|--------------------|----------------------------|----------------------------|----------------------------|----------------------------|
| | 第 35 期 | 第 36 期 | 第 37 期 | 最 終 期 |
| a 配当等収益 | 1,958,580円 | 1,730,470円 | △ 929円 | △ 7,081円 |
| 受取配当金 | 1,959,821 | 1,731,099 | — | — |
| 受取利息 | 1 | 6 | 71 | — |
| 支払利息 | △ 1,242 | △ 635 | △ 1,000 | △ 7,081 |
| b 有価証券売買損益 | 3,436,365 | △ 7,593,364 | 6,808,658 | △ 101,684 |
| 売買益 | 3,452,391 | 517,123 | 8,940,264 | — |
| 売買損 | △ 16,026 | △ 8,110,487 | △ 2,131,606 | △ 101,684 |
| c 信託報酬等 | △ 196,615 | △ 171,417 | △ 156,276 | △ 106,322 |
| d 当期損益金(a + b + c) | 5,198,330 | △ 6,034,311 | 6,651,453 | △ 215,087 |
| e 前期繰越損益金 | △72,469,612 | △61,582,508 | △51,178,953 | △44,527,500 |
| f 追加信託差損益金 | △ 1,417,817 | △ 1,273,982 | △ 953,838 | △ 953,838 |
| (配当等相当額) | (7,893,090) | (7,041,917) | (5,213,223) | (5,213,223) |
| (売買損益相当額) | (△ 9,310,907) | (△ 8,315,899) | (△ 6,167,061) | (△ 6,167,061) |
| g 合計(d + e + f) | △68,689,099 | △68,890,801 | △45,481,338 | △45,696,425 |
| h 収益分配金 | △ 1,840,702 | △ 1,641,847 | — | — |
| 次期繰越損益金(g + h) | △70,529,801 | △70,532,648 | △45,481,338 | △45,696,425 |
| 追加信託差損益金 | △ 1,417,817 | △ 1,273,982 | △ 953,838 | — |
| (配当等相当額) | (7,893,090) | (7,041,917) | (5,213,223) | (—) |
| (売買損益相当額) | (△ 9,310,907) | (△ 8,315,899) | (△ 6,167,061) | (—) |
| 分配準備積立金 | 11,223,696 | 9,982,013 | 7,453,606 | — |
| 繰越損益金 | △80,335,680 | △79,240,679 | △51,981,106 | — |

(注1) 有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 信託報酬等には、消費税相当額を含めて表示しております。

(注3) 追加信託差損益金とは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

注記事項（第35期～最終期）

第35期

- ・信託財産に係る期首元本額・期中追加設定元本額及び期中一部解約元本額

| | |
|-----------|--------------|
| 期首元本額 | 317,322,117円 |
| 期中追加設定元本額 | 48,037円 |
| 期中一部解約元本額 | 54,412,686円 |

- ・分配金の計算過程

計算期間末に、経費控除後の配当等収益（1,888,335円）（本ファンドに帰属すべき親投資信託の配当等収益を含む）、収益調整金（7,893,090円）及び分配準備積立金（11,176,063円）を対象収益（20,957,488円）として、委託者が基準価額の水準、市況動向等を勘案した結果、配当等収益から1,840,702円（1万口当たり70円）を分配に充てることに決定しました。

第36期

- ・信託財産に係る期首元本額・期中追加設定元本額及び期中一部解約元本額

| | |
|-----------|--------------|
| 期首元本額 | 262,957,468円 |
| 期中追加設定元本額 | 38,395円 |
| 期中一部解約元本額 | 28,446,216円 |

- ・分配金の計算過程

計算期間末に、経費控除後の配当等収益（1,560,173円）（本ファンドに帰属すべき親投資信託の配当等収益を含む）、収益調整金（7,041,917円）及び分配準備積立金（10,063,687円）を対象収益（18,665,777円）として、委託者が基準価額の水準、市況動向等を勘案した結果、配当等収益から1,560,173円、分配準備積立金から81,674円の合計1,641,847円（1万口当たり70円）を分配に充てることに決定しました。

第37期

- ・信託財産に係る期首元本額・期中追加設定元本額及び期中一部解約元本額

| | |
|-----------|--------------|
| 期首元本額 | 234,549,647円 |
| 期中追加設定元本額 | 50,195円 |
| 期中一部解約元本額 | 61,009,505円 |

- ・分配金の計算過程

計算期間末に、収益調整金（5,213,223円）及び分配準備積立金（7,453,606円）を対象収益（12,666,829円）として、委託者が基準価額の水準、市況動向等を勘案した結果、分配を行わないことに決定しました。

最終期

- ・信託財産に係る期首元本額・期中追加設定元本額及び期中一部解約元本額

| | |
|-----------|--------------|
| 期首元本額 | 173,590,337円 |
| 期中追加設定元本額 | 0円 |
| 期中一部解約元本額 | 0円 |

■投資信託財産運用総括表

| 信託期間 | 投資信託契約締結日 | 2014年4月28日 | | 投資信託契約終了時の状況 | |
|----------|---------------|---------------|---------------|--------------|--------------|
| | 投資信託契約終了日 | 2017年6月16日 | | 資産総額 | 128,001,149円 |
| 区分 | 投資信託契約締結当初 | 投資信託契約終了時 | 差引増減または追加信託 | 負債総額 | 107,237円 |
| 受益権口数 | 378,968,741口 | 173,590,337口 | △205,378,404口 | 純資産総額 | 127,893,912円 |
| 元本額 | 378,968,741円 | 173,590,337円 | △205,378,404円 | 受益権口数 | 173,590,337口 |
| 毎計算期末の状況 | | | | | |
| 計算期 | 元本額 | 純資産総額 | 基準価額 | 1万口当たりの分配金 | |
| | | | | 金額 | 分配率 |
| 第1期 | 893,723,031円 | 898,189,567円 | 10,050円 | 120円 | 1.20% |
| 第2期 | 1,369,447,640 | 1,381,967,536 | 10,091 | 120 | 1.20 |
| 第3期 | 1,917,849,814 | 1,893,630,613 | 9,874 | 120 | 1.20 |
| 第4期 | 2,138,590,675 | 2,113,097,413 | 9,881 | 120 | 1.20 |
| 第5期 | 2,263,115,559 | 2,284,411,141 | 10,094 | 120 | 1.20 |
| 第6期 | 2,308,798,791 | 2,215,157,089 | 9,594 | 120 | 1.20 |
| 第7期 | 2,294,610,907 | 2,350,557,638 | 10,244 | 120 | 1.20 |
| 第8期 | 1,983,671,424 | 1,931,445,475 | 9,737 | 120 | 1.20 |
| 第9期 | 1,964,609,743 | 1,869,092,794 | 9,514 | 120 | 1.20 |
| 第10期 | 1,927,413,222 | 1,820,044,392 | 9,443 | 120 | 1.20 |
| 第11期 | 1,884,162,668 | 1,723,010,112 | 9,145 | 120 | 1.20 |
| 第12期 | 1,852,742,242 | 1,688,111,217 | 9,111 | 120 | 1.20 |
| 第13期 | 1,643,173,110 | 1,511,247,312 | 9,197 | 120 | 1.20 |
| 第14期 | 1,420,288,940 | 1,286,751,809 | 9,060 | 120 | 1.20 |
| 第15期 | 1,216,145,620 | 1,107,241,344 | 9,105 | 120 | 1.20 |
| 第16期 | 1,117,215,100 | 939,760,749 | 8,412 | 120 | 1.20 |
| 第17期 | 1,053,365,477 | 808,370,227 | 7,674 | 120 | 1.20 |
| 第18期 | 924,821,762 | 735,561,260 | 7,954 | 120 | 1.20 |
| 第19期 | 843,629,133 | 680,611,121 | 8,068 | 90 | 0.90 |
| 第20期 | 711,640,700 | 540,097,263 | 7,589 | 90 | 0.90 |
| 第21期 | 654,674,302 | 457,987,486 | 6,996 | 90 | 0.90 |
| 第22期 | 636,334,090 | 428,315,711 | 6,731 | 90 | 0.90 |
| 第23期 | 570,959,786 | 413,990,569 | 7,251 | 90 | 0.90 |
| 第24期 | 555,425,819 | 399,604,867 | 7,195 | 90 | 0.90 |
| 第25期 | 520,260,412 | 354,780,019 | 6,819 | 70 | 0.70 |
| 第26期 | 502,502,056 | 331,345,099 | 6,594 | 70 | 0.70 |
| 第27期 | 425,927,128 | 294,802,606 | 6,921 | 70 | 0.70 |
| 第28期 | 416,271,716 | 277,153,240 | 6,658 | 70 | 0.70 |
| 第29期 | 415,246,732 | 273,609,208 | 6,589 | 70 | 0.70 |
| 第30期 | 391,471,563 | 266,378,078 | 6,805 | 70 | 0.70 |
| 第31期 | 370,692,001 | 250,931,708 | 6,769 | 70 | 0.70 |
| 第32期 | 348,248,010 | 253,895,272 | 7,291 | 70 | 0.70 |
| 第33期 | 328,367,624 | 236,161,667 | 7,192 | 70 | 0.70 |
| 第34期 | 317,322,117 | 228,036,901 | 7,186 | 70 | 0.70 |
| 第35期 | 262,957,468 | 192,427,667 | 7,318 | 70 | 0.70 |
| 第36期 | 234,549,647 | 164,016,999 | 6,993 | 70 | 0.70 |
| 第37期 | 173,590,337 | 128,108,999 | 7,380 | 0 | — |

■分配金のお知らせ

| | 第35期 | 第36期 | 第37期 |
|----------------|------|------|------|
| 1万口当たり分配金（税引前） | 70円 | 70円 | 0円 |

<分配金をお支払いする場合>

・分配金は、原則として各決算日から起算して5営業日までにお支払いを開始しています。

<分配金を再投資する場合>

・お手持り分配金は、各決算日現在の基準価額に基づいて、みなさまの口座に繰り入れて再投資しています。

<課税上の取扱いについて>

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配金落ち後の基準価額が個別元本と同額の場合または個別元本を上回っている場合は、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配金落ち後の基準価額が個別元本を下回っている場合には、その下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）となります。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、収益分配金発生時に個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・個人の受益者に対する課税
 税率は普通分配金について、20.315%（所得税及び復興特別所得税15.315%、並びに地方税5%）です。

※上記は源泉徴収時の税率であり、税率は課税方法等により異なる場合があります。

※少額投資非課税制度「愛称：NISA（ニーサ）」をご利用の場合、毎年、一定額の範囲で新たに購入した公募株式投資信託などから生じる配当所得及び譲渡所得が5年間非課税となります。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。

※法人の受益者に対する課税は、税率が異なります。

※上記内容は、税法が改正された場合等には変更になることがあります。

※課税上の取扱いの詳細につきましては、税務専門家または税務署等にご確認ください。

■償還金のお知らせ

| | |
|-----------------|-----------|
| 1万口当たりの償還金（税引前） | 7,367円57銭 |
|-----------------|-----------|

<参考情報> 組入れ投資信託証券の内容

■ 主要投資対象の投資信託証券の概要

| | |
|----------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 名称 | UBP OPPORTUNITIES SICAV-SIF グローバル ハイイールド マルチカレンシー ストラテジー ファンド (UBP OPPORTUNITIES SICAV-SIF - Global High Yield Multi Currency Strategy Fund) |
| 形態 | ルクセンブルク籍外国投資信託 (円建て) |
| 運用の基本方針 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 残存期間の短いドル建て及びユーロ建ての国債等および2つの指数*を主要投資対象とし、インカムゲインの確保と信託財産の成長を図ることを目的とします。 ※マークイット社が管理・運営する「Markit CDX North America High Yield Indices」「Markit iTraxx Crossover Indices」に投資します。 ・ 2つの指数は、ハイ・イールド企業群の中で流動性が高い銘柄を投資対象としています。 当該2指数を組み合わせ北米2/3 (67%) 程度/欧州1/3 (33%) 程度を基本とし、相場状況に応じて戦略的に配分ウェイトを±20%程度の範囲で調整します。また、当該2指数を通じた実質投資比率も同様に、相場状況に応じて純資産に対して80%~120%の間で戦略的にウェイト調整を行います。 ・ ハイ・イールド・クレジット・インデックス取引以外の部分については、主として残存期間の短いドル建ての米国の国債等 (3分の2 (67%) 程度) /ユーロ建ての欧州地域の国債等 (3分の1 (33%) 程度) の投資比率を基本とし、金利変動の影響を抑える運用を行います。また、相場状況に応じて、戦略的に配分比率を±20%程度の範囲で調整します。 ・ 投資する外国投資信託証券において、複数通貨*を通じた為替取引を活用し、為替取引によるプレミアム (金利差相当分の収益) の獲得を目指します。 ※最大6通貨を選定し為替取引を行います。 原則として選定候補通貨の流動性・金利状況・ファンダメンタルズ等を総合的に勘案して、通貨選定を行います。 なお、通貨構成は必ずしも相対的に金利の高い上位通貨から選定されるとは限りません。 上記の選定候補通貨及び通貨構成は定期的に見直しを行い、今後変更となる可能性があります。 |
| 主な投資制限 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 有価証券の空売りは行いません。 ・ 純資産総額の10%を超える借入れを行いません。 ・ 流動性に欠ける資産への投資は行いません。 |
| 決算日 | 毎年12月31日 |
| 信託報酬等 | <p>純資産総額に対して年率0.58%程度</p> <p>※年間最低報酬額等がかかる場合は、純資産総額等により年率換算で上記の信託報酬率を上回ることがあります。</p> <p>※上記のほか、投資信託証券の設立・開示に関する費用等 (監査費用、弁護士費用等)、管理報酬、売買委託手数料、外国における資産の保管等に要する費用、信託財産に関する租税等がかかります。</p> |
| 申込・解約手数料 | ありません。 |
| 投資顧問会社 | UBP インベストメンツ株式会社 |
| 副投資顧問会社 | ユニオン バンカール プリヴェ ユービービー エスエー |

※当ファンドが主要投資対象とする投資信託証券の名称及びその運用会社の名称等は今後変更となる場合があります。

以下は、主要投資対象のひとつである投資信託証券「UBP OPPORTUNITIES SICAV-SIF - Global High Yield Multi Currency Strategy Fund」（以下、当ファンド）を含むルクセンブルグ籍外国投資信託「UBP OPPORTUNITIES SICAV-SIF」の財務諸表のうち、当ファンドに関連する部分を委託会社にて抜粋・翻訳したものです。

■ 損益及び純資産変動計算書

(2016年1月1日から2016年12月31日まで)
(円)

| | |
|---------------|----------------------|
| 収益 | |
| 有価証券利息 | 2,527,159 |
| 銀行利息 | 132,741 |
| スワップ利息 | 16,659,408 |
| その他収益 | 1,475 |
| 収益合計 | <u>19,320,783</u> |
| 費用 | |
| 管理報酬 | 1,423,881 |
| 保管管理報酬 | 265,664 |
| 年次税 | 29,075 |
| 一般管理費用 | 3,036,642 |
| サービス手数料 | 83,489 |
| 監査報酬 | 50,796 |
| 借入金利息 | 168,153 |
| 弁護士報酬 | 4,993 |
| 取引手数料 | 659,100 |
| その他管理費用 | 217,173 |
| その他費用 | 340,275 |
| 費用合計 | <u>6,279,241</u> |
| 投資純損益 | <u>13,041,542</u> |
| 実現損益： | |
| - 投資有価証券売却益 | 452,447 |
| - 投資有価証券売却損 | △ 278,572 |
| - 先物為替取引益 | 177,137,747 |
| - 先物為替取引損 | △ 170,158,334 |
| - スワップ取引益 | 672,471,804 |
| - スワップ取引損 | △ 663,080,924 |
| - その他の外国為替取引益 | 314,401,396 |
| - その他の外国為替取引損 | △ 315,861,832 |
| 実現純損益 | <u>28,125,274</u> |
| 未実現損益変動額： | |
| - 投資評価益 | △ 24,011,241 |
| - 投資評価損 | △ 2,103,488 |
| - 先物為替取引評価益 | 3,789,398 |
| - 先物為替取引評価損 | 11,741,962 |
| - スワップ取引評価益 | △ 554,954,206 |
| - スワップ取引評価損 | 554,507,394 |
| 運用による純資産の変動額 | <u>17,095,093</u> |
| 分配金 | △ 49,548,853 |
| 追加設定 | 2,709,946 |
| 解約 | △ 230,530,038 |
| 純資産の変動額合計 | <u>△ 260,273,852</u> |
| 期首純資産合計 | <u>494,896,197</u> |
| 期末純資産合計 | <u>234,622,345</u> |

■組入資産の明細

○有価証券ポートフォリオ・その他純資産の明細表

(2016年12月31日現在)

| 数量 | 銘柄名 | 通貨 | 簿価 (円) | 時価 (円) | 純資産構成比 (%) |
|-------------------------------------------|-------------------------------------|-----|-------------|-------------|------------|
| 公認証券取引所譲渡可能上場有価証券またはその他規制市場で取引される譲渡可能有価証券 | | | 208,476,285 | 210,987,038 | 89.93 |
| 債券 | | | 208,476,285 | 210,987,038 | 89.93 |
| 600,000 | FRANCE OAT 1.00 12-18 25/05A | EUR | 79,755,001 | 75,594,314 | 32.22 |
| 50,000 | US T-NOTE AH-2017 0.75 14-17 15/01S | USD | 5,110,452 | 5,831,980 | 2.49 |
| 550,000 | US TREASURY NOTE 0.875 14-17 15/04S | USD | 56,336,330 | 64,209,407 | 27.37 |
| 560,000 | US TREASURY NOTE 1.00 15-18 15/03S | USD | 67,274,502 | 65,351,337 | 27.85 |
| 有価証券ポートフォリオ合計 | | | 208,476,285 | 210,987,038 | 89.93 |
| 銀行預金 | | | | 11,742,858 | 5.01 |
| その他純資産／(負債) | | | | 11,892,449 | 5.07 |
| 合計 | | | | 234,622,345 | 100.00 |

(注1) UBPインベストメンツ株式会社からのデータ提供を受けて作成しております。

(注2) 作成時点において、入手可能な直近計算期間の財務諸表を用いております。

損保ジャパン日本債券マザーファンド

運用報告書

第16期（決算日 2016年7月15日）

＜計算期間 2015年7月16日～2016年7月15日＞

損保ジャパン日本債券マザーファンド第16期の運用状況をご報告申し上げます。

■当ファンドの仕組みは次の通りです。

| | |
|--------|---------------------------------------------------------|
| 信託期間 | 無期限 |
| 運用方針 | 主に日本の公社債に投資を行い、NOMURA-BPI総合指数を中長期的に上回る投資成果を目指します。 |
| 主要投資対象 | 日本の公社債 |
| 主な組入制限 | 株式（新株引受権証券および新株予約権証券を含みます。）への投資割合は、信託財産の純資産総額の5%以内とします。 |

■最近10期の運用実績

| 決 算 期 | 基 準 価 額 | 期 騰 落 中 率 | | NOMURA-BPI総合指数 | 期 騰 落 中 率 | | 債 券 組 入 率 比 | 純 資 産 額 |
|-----------------|-------------|-----------|----------|----------------|-----------|----------|-------------|--------------|
| | | | | | | | | |
| 7期（2007年7月17日） | 円 10,947 | | % 1.3 | 298.68 | | % 1.2 | % 98.9 | 百万円 7,781 |
| 8期（2008年7月15日） | 11,269 | | 2.9 | 309.09 | | 3.5 | 97.9 | 8,528 |
| 9期（2009年7月15日） | 11,621 | | 3.1 | 318.87 | | 3.2 | 99.5 | 8,527 |
| 10期（2010年7月15日） | 12,045 | | 3.6 | 330.36 | | 3.6 | 98.2 | 9,241 |
| 11期（2011年7月15日） | 12,178 | | 1.1 | 333.06 | | 0.8 | 99.3 | 10,371 |
| 12期（2012年7月17日） | 12,562 | | 3.2 | 343.45 | | 3.1 | 99.2 | 8,420 |
| 13期（2013年7月16日） | 12,597 | | 0.3 | 345.49 | | 0.6 | 95.4 | 10,351 |
| 14期（2014年7月15日） | 12,968 | | 2.9 | 355.76 | | 3.0 | 99.3 | 12,792 |
| 15期（2015年7月15日） | 13,265 | | 2.3 | 362.40 | | 1.9 | 98.5 | 15,172 |
| 16期（2016年7月15日） | 14,398 | | 8.5 | 391.12 | | 7.9 | 96.8 | 13,522 |

（注）基準価額は1万円当たり（以下同じ）。

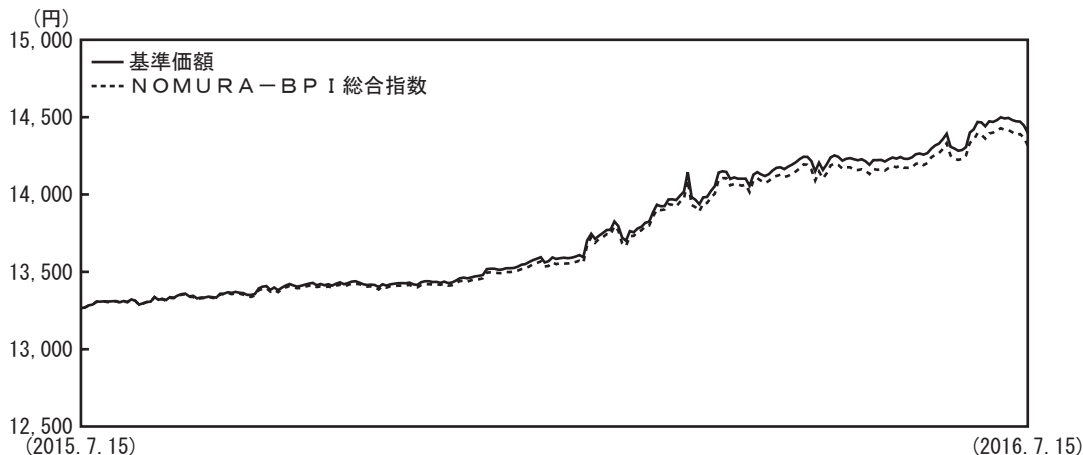
■当期中の基準価額と市況等の推移

| 年 月 日 | 基 準 価 額 | N O M U R A - B P I 総 合 指 数 | | 債 券 組 入 比 | |
|----------------------|-------------|--------------------------------|--------|--------------|-----------|
| | | 騰 落 率 | 騰 落 率 | | |
| (期 首) 2015年 7月15日 | 円 13,265 | % — | 362.40 | % — | % 98.5 |
| 7月末 | 13,311 | 0.3 | 363.58 | 0.3 | 98.9 |
| 8月末 | 13,334 | 0.5 | 364.20 | 0.5 | 97.5 |
| 9月末 | 13,381 | 0.9 | 365.24 | 0.8 | 99.1 |
| 10月末 | 13,430 | 1.2 | 366.65 | 1.2 | 99.0 |
| 11月末 | 13,434 | 1.3 | 366.58 | 1.2 | 98.8 |
| 12月末 | 13,525 | 2.0 | 368.88 | 1.8 | 98.3 |
| 2016年 1月末 | 13,703 | 3.3 | 373.52 | 3.1 | 97.4 |
| 2月末 | 13,925 | 5.0 | 379.83 | 4.8 | 98.2 |
| 3月末 | 14,056 | 6.0 | 382.91 | 5.7 | 96.1 |
| 4月末 | 14,195 | 7.0 | 386.25 | 6.6 | 97.1 |
| 5月末 | 14,242 | 7.4 | 387.60 | 7.0 | 98.0 |
| 6月末 | 14,441 | 8.9 | 392.36 | 8.3 | 99.3 |
| (期 末) 2016年 7月15日 | 14,398 | 8.5 | 391.12 | 7.9 | 96.8 |

(注) 騰落率は期首比。

運用経過

■ 基準価額の推移



期首：13,265円
 期末：14,398円
 騰落率：8.5%

・ベンチマーク（NOMURA-BPI 総合指数）の推移は、2015年7月15日の基準価額をもとに委託会社にて指数化したものを使用しております。

■ 基準価額の主な変動要因

期中の騰落率は+8.5%となりました。債券の利回りが低下（価格は上昇）したことから基準価額は上昇しました。

■投資環境

期初より、日銀による国債の大量買入れを背景に国内の金利は低下（価格は上昇）しました。

2016年1月29日に日銀が「マイナス金利付き量的・質的金融緩和」の導入を決定したことを受けて、金利はさらに低下（価格は上昇）し、2月には、10年債の利回りがマイナスとなりました。その後は、プラスの金利を求める投資需要から、超長期ゾーンを中心に金利は低下（価格は上昇）しました。

米国の利上げ観測の後退や、英国のEU離脱問題からの世界経済先行き不安も、金利の低下要因となり、当期の10年債利回りの低下幅は0.60%以上となりました。

■当該投資信託のポートフォリオ

金利戦略は、イールドカーブの形状・歪みに着目した残存期間戦略を中心に行いました。具体的には、期初より中期をアンダーウェイトし、超長期をオーバーウェイトする戦略を継続しました。2016年1月以降は長期をアンダーウェイトし、30年ゾーンをオーバーウェイトする戦略を合わせて取りました。2016年4月には超長期の内、20年はオーバーウェイトし、30年超はアンダーウェイトする戦略に変更しました。

種別戦略は、事業債、円建外債、RMB Sのオーバーウェイト戦略を継続しました。

個別銘柄戦略は、事業債、RMB Sを中心に割安な銘柄への投資を行いました。

日本債券（10年債）利回りの推移



ポートフォリオの特性

| | マザーファンド | ベンチマーク | 差 |
|-----------|---------|--------|--------|
| 平均複利利回り | 0.06% | △0.14% | 0.21% |
| 平均クーポン | 0.72% | 1.15% | △0.43% |
| 平均残存期間 | 9.65 | 9.09 | 0.56 |
| 修正デュレーション | 9.05 | 9.01 | 0.04 |

(注1) マザーファンドは当期末時点、ベンチマークは2016年6月末時点の数値を使用しております。

(注2) コール・ローン等を除いて算出しております。

(注3) マザーファンドの平均複利利回りは、ファンド組入銘柄等の利回りの加重平均等により算出したものであり、ファンド全体の期待利回りを示すものではありません。

■当該投資信託のベンチマークとの差異

マザーファンドの騰落率は、ベンチマーク（NOMURA-BPI総合指数）の騰落率（+7.9%）を0.6%上回りました。

金利戦略は主に、期を通じて中期をアンダーウェイトし、超長期をオーバーウェイトする戦略を中心に残存期間戦略が奏功し、プラスとなりました。

債券種別戦略は主に事業債、円建外債のオーバーウェイトがマイナスとなりました。

個別銘柄戦略は主に事業債・RMB Sの銘柄選択がプラスとなりました。

■今後の運用方針

金利戦略については、20年ゾーンをオーバーウェイトする戦略を基本とし、オーバーウェイト幅については相場環境に応じて機動的に変更する方針です。

債券種別戦略については、RMB S中心に非国債をオーバーウェイトする戦略を継続します。

個別銘柄戦略は、A格・BBB格を中心に信用力対比で妙味のある銘柄の購入を検討します。

■ 1万口当たりの費用明細

(2015年7月16日から2016年7月15日まで)

| 項 目 | |
|----------------------|-----------|
| そ の 他 費 用 (そ の 他) | 0円 (0) |
| 合 計 | 0 |

(注) 1万口当たりの費用明細は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。なお、費用項目については12ページ(1万口当たりの費用明細の項目の概要)をご参照ください。

■ 売買及び取引の状況

○ 公社債

(2015年7月16日から2016年7月15日まで)

| | | 買 付 額 | 売 付 額 |
|---|---------|------------|--------------------------|
| | | 千円 | 千円 |
| 国 | 国 債 証 券 | 20,241,452 | 21,366,113 (-) |
| | 特 殊 債 券 | 370,143 | 641,588 (169,756) |
| 内 | 社 債 券 | 1,208,941 | 2,122,035 (400,000) |

(注1) 金額は受渡代金(経過利子分は含まれておりません)。

(注2) ()内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

(注3) 社債券には新株予約権付社債(転換社債)は含まれておりません。

(注4) 単位未満は切捨て。

■ 主要な売買銘柄

○ 公社債

(2015年7月16日から2016年7月15日まで)

| 買 付 | | 売 付 | |
|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 銘 柄 | 金 額 | 銘 柄 | 金 額 |
| | | 千円 | |
| 340 10年国債 | 1,819,952 | 340 10年国債 | 1,846,843 |
| 365 2年国債 | 1,702,148 | 339 10年国債 | 1,784,654 |
| 341 10年国債 | 1,504,707 | 354 2年国債 | 1,503,755 |
| 354 2年国債 | 1,502,759 | 128 5年国債 | 1,434,519 |
| 128 5年国債 | 1,437,311 | 155 20年国債 | 1,119,728 |
| 156 20年国債 | 1,210,536 | 337 10年国債 | 1,052,444 |
| 342 10年国債 | 1,141,250 | 357 2年国債 | 1,043,639 |
| 155 20年国債 | 1,103,514 | 341 10年国債 | 861,768 |
| 157 20年国債 | 1,054,861 | 47 30年国債 | 807,222 |
| 357 2年国債 | 1,042,293 | 353 2年国債 | 752,008 |

(注1) 金額は受渡代金(経過利子分は含まれておりません)。

(注2) 単位未満は切捨て。

■ 利害関係人との取引状況 (2015年7月16日から2016年7月15日まで)

当ファンドにおける当期中の利害関係人との取引はございません。

■組入資産の明細

下記は損保ジャパン日本債券マザーファンド（9,392,300千口）の内容です。

(1) 国内（邦貨建）公社債（種類別）

(2016年7月15日現在)

| 区 分 | 当 期 | | | 末 | | | |
|---------------------|---------------------------|---------------------------|----------------|---------------------|-------------------|--------------|---------------|
| | 額 面 金 額 | 評 価 額 | 組 入 比 率 | う ち B B 格 以下組入比率 | 残 存 期 間 別 組 入 比 率 | | |
| | | | | | 5 年 以 上 | 2 年 以 上 | 2 年 未 満 |
| | 千円 | 千円 | % | % | % | % | % |
| 国 債 証 券 | 8,080,000 (100,000) | 8,766,158 (100,034) | 64.8 (0.7) | — (—) | 42.7 (—) | 4.6 (0.7) | 17.5 (—) |
| 特 殊 債 券 (除く金融債券) | 1,373,399 (1,373,399) | 1,458,499 (1,458,499) | 10.8 (10.8) | — (—) | 10.8 (10.8) | — (—) | — (—) |
| 普 通 社 債 券 | 2,800,000 (2,800,000) | 2,865,333 (2,865,333) | 21.2 (21.2) | — (—) | 13.7 (13.7) | 5.3 (5.3) | 2.2 (2.2) |
| 合 計 | 12,253,399 (4,273,399) | 13,089,992 (4,423,867) | 96.8 (32.7) | — (—) | 67.2 (24.5) | 9.8 (6.0) | 19.7 (2.2) |

(注1) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注2) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

(注3) ()内は非上場債で内書き。

(注4) 当マザーファンドは、当期末において、株式及び新株予約権証券の組入れはありません。

(2) 国内（邦貨建）公社債（銘柄別）

(2016年7月15日現在)

| 区 分 | 銘 | 柄 | 年 利 率 | 額 面 金 額 | 評 価 額 | 償 還 年 月 日 |
|---------|-------|--------|---------|-----------|------------|------------|
| | | | % | 千円 | 千円 | |
| 国 債 証 券 | 363 | 2年国債 | 0.1000 | 660,000 | 665,031 | 2018/04/15 |
| | 365 | 2年国債 | 0.1000 | 1,690,000 | 1,704,189 | 2018/06/15 |
| | 116 | 5年国債 | 0.2000 | 90,000 | 91,176 | 2018/12/20 |
| | 117 | 5年国債 | 0.2000 | 60,000 | 60,860 | 2019/03/20 |
| | 21 | メキシコ国債 | 0.4000 | 100,000 | 100,034 | 2019/06/14 |
| | 119 | 5年国債 | 0.1000 | 10,000 | 10,127 | 2019/06/20 |
| | 121 | 5年国債 | 0.1000 | 100,000 | 101,396 | 2019/09/20 |
| | 123 | 5年国債 | 0.1000 | 150,000 | 152,328 | 2020/03/20 |
| | 125 | 5年国債 | 0.1000 | 100,000 | 101,776 | 2020/09/20 |
| | 341 | 10年国債 | 0.3000 | 640,000 | 674,657 | 2025/12/20 |
| | 342 | 10年国債 | 0.1000 | 680,000 | 703,608 | 2026/03/20 |
| | 100 | 20年国債 | 2.2000 | 310,000 | 397,073 | 2028/03/20 |
| | 130 | 20年国債 | 1.8000 | 170,000 | 218,117 | 2031/09/20 |
| | 148 | 20年国債 | 1.5000 | 200,000 | 250,821 | 2034/03/20 |
| | 149 | 20年国債 | 1.5000 | 290,000 | 364,084 | 2034/06/20 |
| | 150 | 20年国債 | 1.4000 | 310,000 | 384,028 | 2034/09/20 |
| | 151 | 20年国債 | 1.2000 | 500,000 | 602,819 | 2034/12/20 |
| | 152 | 20年国債 | 1.2000 | 510,000 | 615,125 | 2035/03/20 |
| 153 | 20年国債 | 1.3000 | 60,000 | 73,513 | 2035/06/20 | |
| 156 | 20年国債 | 0.4000 | 530,000 | 558,530 | 2036/03/20 | |
| 157 | 20年国債 | 0.2000 | 660,000 | 668,975 | 2036/06/20 | |

| 区 分 | 銘 | 柄 | 年 利 率 | 額 面 金 額 | 評 価 額 | 償 還 年 月 日 |
|---------------------|-----------|---------------|-------------|---------------|---------------|------------|
| 国 債 証 券 | 51 | 30年国債 | % 0.3000 | 千円 260,000 | 千円 267,880 | 2046/06/20 |
| 種 別 小 計 | | 22銘柄 | — | 8,080,000 | 8,766,158 | — |
| 特 殊 債 券 (除く金融債券) | 4 | 住宅金融RMBS | 1.8200 | 40,359 | 41,755 | 2036/12/10 |
| | 6 | 住宅金融RMBS | 1.9400 | 59,040 | 61,744 | 2037/06/10 |
| | 17 | 住宅金融RMBS | 1.6400 | 17,799 | 18,717 | 2039/04/10 |
| | 31 | 住宅金融RMBS | 1.7000 | 25,177 | 27,060 | 2040/06/10 |
| | 42 | 住宅金融RMBS | 2.3400 | 49,010 | 53,636 | 2041/05/10 |
| | 49 | 住宅機構RMBS | 1.7600 | 60,130 | 65,529 | 2046/06/10 |
| | 50 | 住宅機構RMBS | 1.6700 | 59,975 | 65,096 | 2046/07/10 |
| | 52 | 住宅機構RMBS | 1.5100 | 68,409 | 73,881 | 2046/09/10 |
| | 60 | 住宅機構RMBS | 1.3400 | 75,117 | 80,585 | 2047/05/10 |
| | 65 | 住宅機構RMBS | 1.1500 | 79,728 | 84,734 | 2047/10/10 |
| | 66 | 住宅機構RMBS | 1.1200 | 78,986 | 83,804 | 2047/11/10 |
| | 73 | 住宅機構RMBS | 1.3000 | 81,551 | 87,479 | 2048/06/10 |
| | 78 | 住宅機構RMBS | 1.0800 | 159,122 | 168,542 | 2048/11/10 |
| | 79 | 住宅機構RMBS | 1.0700 | 160,318 | 169,744 | 2048/12/10 |
| | 86 | 住宅機構RMBS | 1.0000 | 175,250 | 185,256 | 2049/07/10 |
| 92 | 住宅機構RMBS | 0.7400 | 183,428 | 190,930 | 2050/01/10 | |
| 種 別 小 計 | | 16銘柄 | — | 1,373,399 | 1,458,499 | — |
| 普 通 社 債 券 | 2 | 荒川化学工業 | 0.2800 | 100,000 | 100,114 | 2016/12/16 |
| | 22 | ラボバンク・ネダー | 0.3770 | 100,000 | 100,075 | 2016/12/19 |
| | 167 | オリックス | 0.5080 | 100,000 | 100,778 | 2018/03/07 |
| | 7 | BPCE S.A. | 0.5500 | 100,000 | 101,234 | 2019/07/10 |
| | 1 | 明治安田2014基 | 0.5100 | 200,000 | 202,712 | 2019/08/07 |
| | 559 | 東京電力 | 1.3770 | 100,000 | 103,032 | 2019/10/29 |
| | 71 | アコム | 0.5600 | 100,000 | 100,823 | 2020/05/29 |
| | 568 | 東京電力 | 1.1550 | 100,000 | 102,556 | 2020/09/08 |
| | 2 | ユニゾHD | 0.5100 | 100,000 | 100,428 | 2021/05/26 |
| | 8 | オリエン特コーポレーション | 0.2900 | 100,000 | 100,000 | 2021/07/22 |
| | 31 | 双日 | 0.8400 | 100,000 | 102,384 | 2021/09/03 |
| | 25 | 太平洋セメント | 0.6300 | 100,000 | 101,663 | 2021/09/10 |
| | 495 | 関西電力 | 0.7460 | 100,000 | 103,135 | 2021/09/17 |
| | 13 | パナソニック | 0.5680 | 100,000 | 102,271 | 2022/03/18 |
| | 1 | みずほFG劣後 | 0.9500 | 200,000 | 209,790 | 2024/07/16 |
| | 1 | 三井住友FG劣後 | 0.8490 | 100,000 | 104,511 | 2024/09/12 |
| | 69 | アコム | 1.2100 | 100,000 | 104,454 | 2024/09/26 |
| | 431 | 九州電力 | 0.8110 | 100,000 | 105,016 | 2024/12/25 |
| | 1 | BPCE S.A. 劣後 | 2.0470 | 100,000 | 103,269 | 2025/01/30 |
| | 496 | 関西電力 | 0.9080 | 100,000 | 105,950 | 2025/02/25 |
| 1 | クレディ・A 劣後 | 2.1140 | 100,000 | 103,852 | 2025/06/26 | |

| 区 分 | 銘 柄 | 年 利 率 | 額 面 金 額 | 評 価 額 | 償 還 年 月 日 |
|-----------|---------------|--------|------------|------------|------------|
| | | % | 千円 | 千円 | |
| 普 通 社 債 券 | 4 ソシエテG 劣後 | 1.8340 | 100,000 | 100,774 | 2026/06/03 |
| | 5 クレディ・A 劣後FR | 1.6650 | 100,000 | 99,750 | 2026/07/09 |
| | 1A日本生命劣後FR | 1.5200 | 100,000 | 105,970 | 2045/04/30 |
| | 2A日本生命劣後FR | 0.9400 | 100,000 | 100,579 | 2046/04/27 |
| | 2A住友生命劣後FR | 0.8400 | 100,000 | 100,203 | 2076/06/29 |
| 種 別 小 計 | 26銘柄 | — | 2,800,000 | 2,865,333 | — |
| 合 計 | 64銘柄 | — | 12,253,399 | 13,089,992 | — |

(注) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

(2016年7月15日現在)

| 項 目 | 当 期 末 | |
|-------------------------|------------------|-----------|
| | 評 価 額 | 比 率 |
| 公 社 債 | 千円 13,089,992 | % 96.1 |
| コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他 | 532,769 | 3.9 |
| 投 資 信 託 財 産 総 額 | 13,622,761 | 100.0 |

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2016年7月15日現在)

| 項 目 | 当 期 末 |
|-------------------|-----------------|
| a 資産 | 13,622,761,883円 |
| コール・ローン等 | 414,810,954 |
| 公社債(評価額) | 13,089,992,121 |
| 未収入金 | 101,772,000 |
| 未収利息 | 15,079,701 |
| 前払費用 | 1,107,107 |
| b 負債 | 100,000,000 |
| 未払金 | 100,000,000 |
| c 純資産総額(a - b) | 13,522,761,883 |
| 元本 | 9,392,300,054 |
| 次期繰越損益金 | 4,130,461,829 |
| d 受益権総口数 | 9,392,300,054口 |
| 1万口当たり基準価額(c / d) | 14,398円 |

(注1) 信託財産に係る期首元本額11,437,411,824円、期中追加設定元本額1,912,316,775円、期中一部解約元本額3,957,428,545円

(注2) 期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託ごとの元本の内訳

| | |
|---------------------------------|----------------|
| 損保ジャパン日本債券ファンド | 1,070,483,754円 |
| ハッピーエイジング20 | 98,830,995円 |
| ハッピーエイジング30 | 501,729,548円 |
| ハッピーエイジング40 | 2,645,343,783円 |
| ハッピーエイジング50 | 2,230,565,421円 |
| ハッピーエイジング60 | 2,107,055,206円 |
| パン・アフリカ株式ファンド | 14,243,358円 |
| 人民元建て債券ファンド | 2,369,564円 |
| 好配当グローバルREITプレミアム・ファンド円ヘッジありコース | 6,565,475円 |
| 好配当グローバルREITプレミアム・ファンド円ヘッジなしコース | 49,679,602円 |
| 好配当グローバルREITプレミアム・ファンド通貨セレクトコース | 631,066,826円 |
| 好配当米国株式プレミアム・ファンド円ヘッジありコース | 33,589円 |
| 好配当米国株式プレミアム・ファンド円ヘッジなしコース | 27,358円 |
| 好配当米国株式プレミアム・ファンド通貨セレクトコース | 995,184円 |
| 好配当米国株式プレミアム・ファンド通貨セレクト・プレミアム | 25,983,714円 |
| 金利上昇対応型グローバル・ハイ・イールドファンド円ヘッジあり | 463,945円 |
| 金利上昇対応型グローバル・ハイ・イールドファンド円ヘッジなし | 396,444円 |
| 金利上昇対応型グローバル・ハイ・イールドファンド通貨セレクト | 2,012,342円 |
| 好配当グローバルREITプレミアム通貨セレクト・プレミアム | 1,596,463円 |
| 好配当グローバルREITプレミアム米ドルプレミアムコース | 1,336,859円 |
| インド株式集中投資ファンド | 1,520,624円 |

(注3) 期末における1口当たりの純資産総額 1.4398円

■損益の状況

(2015年7月16日から2016年7月15日まで)

| 項 目 | 当 期 |
|---------------------|----------------|
| a 配当等収益 | 102,706,724円 |
| 受取利息 | 102,754,258 |
| 支払利息 | △ 47,534 |
| b 有価証券売買損益 | 1,024,318,621 |
| 売買益 | 1,052,693,061 |
| 売買損 | △ 28,374,440 |
| c 信託報酬等 | △ 16,437 |
| d 当期損益金(a + b + c) | 1,127,008,908 |
| e 前期繰越損益金 | 3,734,756,052 |
| f 解約差損益金 | △1,461,406,356 |
| g 追加信託差損益金 | 730,103,225 |
| h 合計(d + e + f + g) | 4,130,461,829 |
| 次期繰越損益金(h) | 4,130,461,829 |

(注1) 有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 信託報酬等には、消費税相当額を含めて表示しております。

(注3) 解約差損益金とは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

(注4) 追加信託差損益金とは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。